

第1回東近江市立学校通学区域審議会 概要

開催日時 平成20年4月24日(木) 午後7時30分～午後9時30分

会場 永源寺支所 大会議室

出席者氏名 委員 長山慈信、野村 赤一、吉澤克美、河居孝、端野紋一、寺田善一郎、福井肇、
山崎良朗、長谷出浩、野田久雄、上田展幸、八木光弘、静修、谷弥一郎、
木村芳幸、佐生和子、
欠席 左近堅一、大橋嘉彦、川嶋佳代子
事務局 小川教育長、澤田教育部長、岡教育部次長、森島永源寺支所長、瀧澤企画課副主幹
久保企画課主査、西澤学校教育課長、松林教育総務課長、藤田主幹、野神副参事

司会・進行 岡 次長

委嘱状交付(教育長)

1 あいさつ 小川教育長

2 審議会要綱説明 説明者 藤田
委員紹介 自己紹介

3 会長、副会長選出

委員の中から、事務局提案を求める声があり、事務局提案で委員長を選出することについて諮り、了承を得る。

事務局提案(長山会長、野村副会長、河居副会長 提案者 松林課長)

全会一致で了承される。

長山会長就任あいさつ

進行役(議長) 長山会長に交代

4 諮問内容等説明

政所小学校及び甲津畑小学校の現状並びに審議会への諮問内容を説明(説明者 藤田)

市立学校の通学区域については、八日市南小学校を分離することで、大規模校化については解消する方向付けができましたが、児童数の減少に伴う小規模校の統廃合が重要な課題となっており、特に政所小学校と甲津畑小学校の小規模校化が著しく、いずれも基準上では複式学級規模となっています。

児童数の推移等は別表のとおり

政所小学校は、平成20年度の児童数は13人となり、教頭が配置されなくなり、県費での事務職員配置もされなくなりました。

甲津畑小学校も平成22年からは25人を割り込むことが見込まれており、その後も減少傾向が続くものと考えられます。

政所小学校、甲津畑小学校の通学区域について、より良好な教育環境を創出するため、地域振興、歴史的背景を含め調査・検討し、その適正なあり方について報告をいただきたい。

5 意見交換、質疑

政所小学校長及び甲津畑小学校長から小規模校の特性と課題についての現況報告。

教師とのふれあいが十分図れ、子どもたちの勤労意欲(掃除や岩魚の世話)も盛ん。

元気に素直に育っている。

まじめであり、仲が良く、思いやりの心がある反面、喧嘩が少なすぎるのも少し気がかり。

新しい友達との出会いや子どもどうしの中での学びの場がどうしても少なくなる。

地域保護者のつながりが良好で、地域ぐるみで子どもを育てる教育環境が確立されているとともに、子

どもたちが地域の良さを確認し、郷土を愛する心がはぐくめる。
少人数ゆえに、郊外学習などでの保護者負担が大きい。(借上バス代等)
などが報告された。

政所小学校及び甲津畑小学校 PTA 会長からの意見

政所小学校と甲津畑小学校を分けて審議していただきたい。
保護者の中には統合しなくても、区域外通学により山上小学校への通学を考えている方もおられ、差し迫った状況があります。円滑に統合できる形をお願いしたい。
受け入れの山上小学校側のことも考えて、学校名は変わらないけども大きな校区の中に政所小学校区があるといったように、入れてもらうという感覚ではない形を取ってもらいたいと考えています。
甲津畑小学校では、この話について全く議論できていない。
こんどの PTA 総会で教育委員会から説明してもらい PTA の中で議論していきたい。

政所地区及び甲津畑地区住民代表からの意見

7 集落の中で 3 集落しか子どもがいない状況。
さびしい限りではあるが、統合はやむをえないのではないかな。
7 年後には小学生が、10 年後には中学生が、13 年後には高校生が、15 年後には未成年がいなくなっていくことで、集落崩壊の問題である。
この 3 月末の役員改選時に、「来年の 4 月に小学校が統合で無くなる。」と言ってきたが、誰からも反対の声は無く、仕方ないということであった。今通っている子どもたちのこと、保護者さんのことを考えて判断すべきということです。
過去には、永源寺の小学校を一つにしようと考えられたこともあった。
今回の統合の議論を、単に政所と甲津畑のことだけではなく、市全体のことととらえて、学区の編成替えを考えてもらうのもひとつの方法ではないかな。
市原、山上それぞれ同じような人数になるようにし、あるいはひとつの学校にし、教師の質も含め、教育環境を充実させるような方法はないかな。

事務局コメント

教育委員会としても、政所小学校と甲津畑小学校を同レベルで考えているということではなく、政所小学校については PTA の要望、また児童数の状況からも非常に差し迫ったものがあると認識しており、住民のみなさんとの意見交換を踏まえ、できるだけ早い時期に方向付けができればと考えています。
甲津畑小学校については、問題提起から始めさせていただこうと考えており、先ほどの報告にもあったように、小規模校にも一定の課題があるということですので、地域の中での議論からのスタートと捉えています。

自由意見

- 子どもを中心に考えて、地域の思いとの調整は非常に難しいものがありますが、やはり子どもの教育環境であるとか、保護者の方の意向を大切に考えていくべき。
- 幼稚園の統合の話があったとき、専門部会を作り議論を行った。年配の方は残したいとの意向が強かったが、若いお母さんたちは統合でもよいとの考えであった。最終的には用地費等で折り合いがつかず見送られたが、子どもの教育環境であるとか、保護者の方の意向を大切に考えていくべき。
- 少年野球を見ていると、山上、政所、甲津畑でチームが作られているが、人数的には少ないものの政所、甲津畑が混ぜてもらっているというよりは、引っ張っているという感さえあり、たくましさを感じている。
- 山上小学校については 3 年間かけすべての施設を新しくいただき、県下でも有数の教育環境といえます。普通教室が 9 教室あり、特別教室を普通教室に転用して 10 教室まで対応が可能です。
現在も永源寺地区の 4 小学校では交流事業を行っており、子どもたちにとって、楽しみで、お互いに教え合え学び合える場になっています。

- 少人数規模の学校は、先生に負担がかかっていることから、適正な規模であることも大切。
- 市原小学校の規模でも、運動会などでは高学年に負担がかかっている。組み立て体操は 4 年生からやっている。
- 意見交換会での住民への周知をお願いしたい。
- スクールバスについての対応はどのようになるのか。統合の経緯も踏まえ、通学が保護者負担の増加につながらないようにしていただきたい。

6 今後の日程等について協議 提案等 松林課長

第 2 回東近江市立学校通学区審議会

平成 20 年 5 月 29 日（木）午後 7 時 30 分から 東近江市永源寺支所大会議室にて

政所地区住民説明および意見交換会

5 月 10 日（土）午後 7 時 30 分から 鈴鹿の里コミュニティーセンター

甲津畑町住民説明および意見交換会

5 月 17 日（土）午後 7 時 30 分から 甲津畑小学校

政所小学校 PTA・甲津畑小学校 PTA 説明および意見交換

5 月に開催されるそれぞれの PTA 総会の中で

山上小学校の PTA 総会でも説明を行う。

①政所小学校は児童数の推移から判断し、非常に差し迫ったものがあることから、甲津畑小学校と分離し早い時期に方向付けを行うこと。

②子どものよりよい教育環境と保護者の方の意向を大切に考えて、方向付けを行うこと。

を確認し、それぞれの地域や各学校での PTA 総会における説明会・意見交換会で出された意見を参考に議論を深めることとします。

進行役 岡次長に交代

7 その他

閉会あいさつ 澤田部長